

ご使用前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関する注意

必ずお守りください

警告

- ★液圧式サーモスタットは定格電圧、電流を超えて使用しないでください。
- ★交流電源での抵抗負荷以外の用途には使用しないでください。
- ★感熱部及びキャピラリーチューブは切断しないでください。設定温度でサーモスタットの接点が開閉できず、火災の原因となります。
- ★腐食性のある環境では使用しないでください。液漏れにより接点の開閉ができず、火災の原因となります。
- ★感熱部及びキャピラリーチューブは、ダイヤルの最高表示温度以上で使用しないでください。接点の開閉ができなくなり、火災の原因となります。
- ★サーモスタット本体は、振動のある場所では使用しないでください。接点の開閉に異常をきたし、火災の原因となります。
- ★制御機器の分解、改造は行わないでください。火災の原因となります。

注意

- ★感熱部は、つぶしたり曲げたりしないでください。
- ★キャピラリーチューブは、つぶしたり鋭角に曲げたりしないでください。温度感知ができなくなり制御不能となり危険です。曲げ加工を行う際は、最小曲げ半径を 25mm 以上確保してください。曲げ加工は繰り返さないでください。
- ★感熱部とキャピラリー接続部は溶接接着のため、液圧サーモスタットの感熱部だけを持って本体を持ち運ばないでください。折れる原因となります。特に接続部より 30mm 間は曲げないでください。キャピラリーチューブ等を破損しますと、温度感知ができなくなり制御不能となります。
- ★サーモスタットを温度調節器として使用する場合は、過昇防止機器を併用してください。温度調節用サーモスタットが故障(感熱部、キャピラリーチューブ、またはダイヤフラム部の破損による液漏れ等)した場合、接点の開閉ができなくなり、火災の原因となりますので、定期的に動作確認をしてください。また、過昇防止機器として使用する場合にも、定期的に動作確認をしてください。
- ★周囲温度が 80℃を超える環境では使用しないでください。
- ★サーモスタット本体は水がかかる環境では使用しないでください。漏電、短絡状態が発生して、火災、感電の原因となります。
- ★サーモスタットの感熱部全体が必ず制御すべき場所に接触するように設置してください。部分挿入または部分接触の場合は、正常な温度感知ができず設定温度を超えてしまい、火災や火傷が発生する恐れがあります。

その他の注意事項

- ★直流、または、誘導負荷の場合はご連絡ください。
- ★負荷が電球の場合は、 $\frac{1}{10}$ 以下の電流でご使用ください。
- ★微小電流、低電圧(リレー、電磁弁の負荷)の制御には、接点間において導通しないことがありますので、微電流用の EA17-L をご使用ください。
- ★リレー等の負荷には B10 シリーズは使用しないでください。リレー接点が溶着して危険です。
- ★三相電源にて使用する場合は、EA17-L とマグネットリレーの併用または三相用の D33 シリーズをご使用ください。
- ★安全上アース配線をしてください。